

(2) 柳瀬地区ところワゴンの本格運行について

1 利用者数の推移

令和7年1月	2月	3月	4月	5月	6月
887人	944人	1,092人	1,231人	1,114人	1,334人

ルート見直し前（令和6年4月～12月）の月間平均利用者数：1,160人

→見直しによる利用者増加の効果は見られず、頭打ちとなっている。

2 ルートごとの利用状況の特徴

①日比田ルート

通勤、買い物に利用されており、朝～午前は東所沢駅に向かう需要がある。

午後～夕方は、東所沢駅からエスシティ（中富南）に帰宅する需要がある。

②本郷ルート

午後1時台までは、1便あたり1人程度の利用があるが、午後2時台以降の便では極端に減少

③南永井ルート

朝7時台の便は利用者がほぼおらず、遅い時間になるにつれて利用者数が増える。

同じ便・同じ停留所の利用に偏っている。

④坂之下・城ルート

朝8時台の便の利用者数が多く、午後に向けて減少する。通勤利用者がいる。

3 利用者及び地域住民へのアンケートの結果

【アンケート調査概要】

- ・令和7年6月1日～30日
- ・利用者アンケート ところワゴン車内で利用者（125名）に配布。68件の回答
- ・地域住民アンケート 自治会加入世帯（4,211世帯）に配布。739件の回答

①日比田ルート

現在の東所沢駅との直結ルートが好評

②本郷ルート

柳瀬まちづくりセンターへの移動手段確保を求める声

③南永井ルート

東所沢二丁目の住民から、自宅付近を通れば利用できる、との回答多数

④坂之下・城ルート

最終便（午後2時台）が早すぎるとの声

4 本格運行の方向性

- ・需要に合わせて3台体制から2台体制に変更
- ・アンケート結果を踏まえたルート案（資料2-2）

令和7年7月3日、柳瀬地区の自治会長等との意見交換会により、方向性を確認済み